



## 自分たちの力で卒業記念ドッジボール大会 ～桜山小学校の6年生が古紙回収で開催実現

市総合体育館で3月14日、ドッジボール大会「さくさくカップ」が開催され、桜山小学校5・6年生6チームのほか、南さつま市・鹿児島市など県内6市からの招待6チームが出場しました。

この大会は、同校の6年生(卒業生)44人が、卒業記念に自分たちの力でドッジボール大会を開催しようと、大会費用を工面するため古紙回収に取り組みました。児童たちの頑張りが周囲の協力もあって、当初の目標額よりも多く集まり、昼食時に参加チームへカツオのタタキをふるまったほか、記念品代や運営費にあてられました。

試合は総当たり戦で行われ、熱戦が繰り広げられました。勝敗もさることながら、どのチームも声をかけ合いながらみんなで力を合わせて頑張りました。

大会は大成功に終わり、卒業した児童たちにとって、とても貴重な経験となったことでしょう。



## 枕崎で流した汗を笑顔に変えて ～福岡工業大学野球部が枕崎でキャンプ

福岡工業大学野球部によるキャンプが、2月28日から5日間の日程で、市営球場で行われました。

すっかり恒例となったキャンプも今年で13回目。激励を込めて、市から黒豚、市議会からカツオのフィッシュなどがそれぞれ贈られました。

小松圭介主将から「枕崎でみっちり練習して、今年には神宮大会に出場し、枕崎の方々に喜んでほしい」という力強い決意が述べられました。

## 男女の違いを認め合い、明るい参画社会を ～まくらざきハーモニーフェスティバル

男女共同参画社会の実現を目指し、市とまくらざきハーモニーネットワーク委員会によるハーモニーフェスティバルが3月8日、市民会館で開催され、同会員や市民など約170人が参加しました。

サザン・リージョン病院緩和ケア病棟長・大瀬克広医師による講演では、自身の体験や病棟で接する患者の姿を通し「男性と女性ではコミュニケーション能力に差がある。男性はこらえて泣かない、相談ができない」と性別による違いを紹介したり、男女共同参画社会の実現が叫ばれる背景や長生きの10か条をユーモアを交えて話しました。

また、枕崎市男女共同参画推進懇話会委員による、寸劇もあり、楽しみながら男女共同参画の必要性を学びました。



## 枕崎の食を、作って食べて大満足 ～枕崎の食を考える会による体験型食育祭り

枕崎の食を考える会(山崎巳代治代表)主催による『体験型食育祭り』が3月8日、枕崎保育園で開催され、親子連れなど約300人の来場者とボランティアスタッフ約100人で大いに賑わいました。

薪・釜でご飯を炊いておにぎりを作ったり、餅をついてぜんざいを作るなど様々な食体験コーナーや椿油をしぼるコーナー、展示コーナーなど盛りだくさんの内容。参加者たちは作って食べる体験から、枕崎の食を学び考え、語り合い、楽しく有意義な時間をすごしました。



## 子どもたちの防火への呼びかけにこたえよう ～幼年消防クラブ防火ポスター展

春の火災予防運動期間に合わせ防火への意識を高めてもらうため、南薩地区消防組合の幼年消防クラブポスター展が開催されました。

各幼年消防クラブから火災予防のポスター350点が出品される中、「ふじ幼年消防隊」の下木原洗聖くんの作品が金賞に選ばれました。

期間中(3月1日～7日)、優秀作品が枕崎や南さつま市の7会場に展示され、子どもたちの明るく、いきいきとした表現のポスターが火災予防運動に貢献しました。



## 「水高マグロ」で漁港が活気付く ～鹿児島水産高校「薩摩青雲丸」がマグロを乗せ帰港

鹿児島水産高校の実習生22人を乗せた実習船「薩摩青雲丸」が3月19日、約70日間のハワイ沖でのマグロはえ縄漁実習を終えて枕崎港に帰港し、マグロの水揚げを行いました。ハワイ沖での実習は年3回で、同校のPRや地域活性化のため、昨年からは年1回、枕崎での水揚げを始めています。

船から大きなマグロがクレーンで釣り上げられ次々に水揚げされると、実習生の家族や関係者たちから歓声が上がりました。今回の漁獲は27トン。県漁連や地元仲買業者が購入し、県内スーパーで「水高マグロ」として販売されると予定だそうです。お楽しみに。



## 「カツオ号」出発進行! ～ラッピング列車が指宿枕崎線を走る

JR指宿枕崎線に3月22日、ラッピング列車「カツオ号」が登場しました。これは、同線の利用促進と観光の振興を図るため、県南薩地域振興局が企画したもの。列車の先頭の車体には、鹿児島水産高校の鹿児島巧兵衛がデザインした本市の特産品であるカツオのほかに、海、太陽が描かれています。この日、鹿児島市の鹿児島中央駅で出発式が行われ、鯨島君が一日駅長を務め、くす玉を割って運行を祝い、「出発進行」と合図を送りました。また、この列車が到着した枕崎駅でも出発式が行われ、多くの市民がラッピング列車の運行を祝いました。式では、市長によるあいさつの後、地元バンド「すんくじらブラザーズ」による「枕崎市民歌」が披露されました。この「カツオ号」は1年間、同線などで運行される予定です。

## 今年の茶の豊作・安全を祈願して ～茶業協議会が豊作・安全祈願祭と新茶製造講習会

枕崎市茶業協議会(籠原謙次会長)が3月27日、別府茅野地区の茶畑で、一番茶の収穫を前に「豊作・安全祈願祭」を行い、同会員や関係者など約40人が参加しました。籠原会長は、「いよいよ一番茶が始まる。頑張っておいしいお茶づくりに努め、よりよい相場となるよう期待したい」と語りました。この後、会員たちは桜山茶工場に移動し新茶製造講習会に参加。一番茶の品質向上を目指し、真剣に講習に臨んでいました。

本市の重要な基幹産業の一つであるお茶。皆さんも一番茶を急須で淹(い)れて、枕崎茶の香りとおいしさを味わいましょう。

